

## 議会運営委員会行政視察

### 宮古市の議会基本条例について

2月2日、岩手県宮古市を視察しました。

宮古市の議会基本条例は、職員の反問権と、議員間の自由討議を保障している点、議会報告会を議員たちが自主的に行っている点、そして請願書を議会に提出した請願者等の意見陳述が保障されている点が特に優れていると評価されており、同時に、政治倫理条例の制定過程についても研修する目的で、正副議長を含む十二人で出かけた。

横手市と同様に、合併して新宮古市となり、まずはじめに、自治体の憲法ともいべき自治基本条例を作り、その後、会津若松市の議会基本条例を参考にしながら進めたそうです。何度も議会運営委員会で議論を重ねて策定し、実践する中で全議員が議会基本条例の内容を身につけていくことを目指すというお話でした。

特に、議員たちが抽選により5つの班に分かれ、市内各地域に向いて議会報告をすることの大切さと難しさを拝聴しました。その議会報告会における第一

回目の報告書によると、中には市の担当課に問い合わせれば解決できる内容もありましたが、報告会では、議員個人が自身の意見を主張するものではなく、議会としての審議経過や結果の報告をすることが条例に明記されているため、議員全員が調査・分析・論議に至る、相当な準備をしなければなりません。もちろん片手間では間に合わない時間とエネルギーを要しますから、経済的な議員活動の保障も必要とのことでした。

宮古市議会では、議会運営委員会がリーダーシップをとって議会基本条例の策定と肉付けを推し進めてきたとのこと、横手市議会としても、この研修に参加した議会運営委員が率先して取り組んでいき、市民にとってガラス張りの、開かれた議会にしていくことの重要性を痛感しました。



宮古市での視察風景

## 議会広報委員会行政視察

### 「市議会だより」の取り組みと広報システムを視察

議会広報委員会では、議会の動向を「より身近で、よりわかりやすく」伝えるため、議論を重ねています。1月18・19日、宮城県登米市と岩手県一関市を視察しました。

◆登米市◆ 人口9万人弱で議員数は30名。かつては金の産地として栄え、現在はB級グルメ・油麩井などでまちおこしを進めています。

◆本会議中継システム◆ ライブ中継と録画の配信を行っています。管理費は5年契約で約600万円。アクセス数は直近のデータでライブ中継が1,746件(21年12月議会)、録画が609件(21年12月)との事でした。

◆一関市◆ 人口約12万人で議員数は34名。総面積は岩手県内一で骨寺村荘園遺跡など多くの文化財に恵まれています。

◆会議録検索システム◆ 会議種別や発言者、単語等で本会議の審議内容を検索でき、年間の予算額は約38万円。平成17年度新市発足以降の会議録の内容を掲載しています。アクセス数は20年4月から

のトータルで約5千件。

◆議会だより◆ 両市とも、市民の行政や議会に対する要望、意見を掲載し、生の声を反映させようと努力しています。また、表紙写真については登米市では一般公募を試みており、一関市は年間でスケジュールを立てて、人物中心の写真に掲載しています。

視察を踏まえ、議会広報委員会では、まず「議会だより」の編集について、学んだ点で可能なものは議会と相談しながら、積極的に採り入れていくこととしました。また、会議録検索システムについては、現在、市議会ホームページ上で公開されている会議録との比較や両立性を勘案しながら、導入の可否について検討していきます。



視察で訪問した登米市庁舎